



いつか
わたしも...

ひまわりの種

少し重たい話しになるかもしれませんが…

「虐待は繰り返される」よく耳にする言葉です。

実際問題、虐待に関する事件等が起こったりすると、虐待を起こした側の子供時代や学生時代の問題点、親（大人）からのしつけ等の問題点が表にされています。親しくもなかったであろう人達までも口を揃えた様に語り始めます。私は聞いてみたいです「助けてあげた事はあるのですか」「どうして、守ってあげなかったのですか」「知っててほって置いたのですか」もっともっと沢山聞いてみたい事があります。そんな事をして今さら遅いのですが、いつも聞いてみたくなります。

もう子供がこの世に生まれているにも関わらず、手の中で眠っているにも関わらず出て来てしまう言葉を耳にする事が、目にする事があります。
「可愛がってもらってないから可愛いがり方がわからない」「親に抱いてもらった事がない」「あの子は私を嫌ってる」「あの子は私を困らす為に生まれた」まだまだ沢山…

簡単に子育てが出来てしまう方、頑張ってる本当に頑張っても接し方がわからない方、出来る時もあるけれど出来ない事も…なんて方、自分なりで可愛がってらっしゃる方、皆いろいろですよ。

きっと、多かれ少なかれ子供の親になれば、子育てってお父さんお母さん関係なく悩めますよねって思います。中には、だから私は親にならないなれない、って言われる方もいます。

私事ですが、記憶のある限りでは幼稚園の頃から実母を中心によるあらゆる虐待を受けていました。（詳細は書ける時にゆっくり書いていこうと思います）
でもね虐待を繰り返してはいません私自身は。

その家族が嫌でその家庭が嫌で、それでもほんの二年ほど前までは現実に振り回されていました。
今は少し間を置けていますが…
でも、気持ちや夢の中 フラッシュバック等で今現在も苦しみ続けていますが。

同じ苦しみ、悲しみを我が子に与えたい親がいるとは思えないし、思いたくないのです。

子供が授かったって事は親一年生ですよ、子育てだって一年生だもの分からなくても当然だと思うのです。もしも虐待に苦しんだ過去、現在がある方であってもそれは同じだと思うのです。

またまた私事ですが、十代で一人目の娘を授かりましたが、それまでずっと‘自分が悪い子だから’ ‘自分は生まれてはいけない子だった’ 実母の言葉や態度によってそう植え付けられていました。
我が子が授かり、子供に責任はない＝私が悪い子だった訳じゃない 生まれて駄目な子なんていないって言う現実との狭間で、もがき、苦しみ、戦いが始まりました。今も続いています…

ここまで書いて過去との格闘で頭が忙しく、子供の頃の私を見ちゃうので、続きは次の機会に回そうと思います。